

復員廳第二復員局公報

第八三號

昭和二十二年二月一日(土)

第二復員局文書課

○通牒

二復總第四九號

昭和二十二年二月一日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

行動不能艦艇保管實施要領ノ件通牒

首題ノ件別紙及ビ別冊ノ通り定メラレタカラ了知サレタイ。

(別紙)

行動不能艦艇保管實施要領

一 行動不能艦艇トハ一九四六年七月十二日COMNAVJAPの指令ニ依リ第二復員局方責任ヲ以テ保管スルコトヲ命ゼラレタ舊海軍艦艇中特別輸送艦船、掃海艦艇及ビ特別保管艦(特ヲ含ム)ヲ除ク一切ノ艦艇(未成艦艇、舊飛行機救難艇、舊魚雷艇ヲ含ム)ヲ謂ヒ其ノ保管ハ管船規程ニ依ルノ外本實施要領ニ依ツテ行フ。

二 行動不能艦艇中沈没其ノ他ノ理由ニ依ツテ保管員ノ乗艦サセナイテ陸上監視員ヲ本保管實施要領ニ準ジテ監視保管スル艦艇ハコレヲ行動不能艦艇(特)トスル。但シ未成艦艇及ビ魚雷艇ハ全部行動不能艦艇(特)トスル。

三 行動不能艦艇ニハ一乃至二名ノ保管員ヲ乗艦サセ保管スルヲ建前トスル。但シ狀況ニ依ツテ行動不能艦艇及ビ行動不能艦艇(特)ノ保管及ビ陸上監視ハ適當ナル地方官民機關ニ依頼スル事ガ出來ル。此ノ場合ニハ豫メ理由ヲ具申シ許可ヲ受ケネバナラナイ。

四 行動不能艦艇ハナルベク管船基地又ハ出張所々在在ニ集メ保管スル。

五 大藏省ヨリ民間ニ一時使用ヲ許可サレテ居ル艦艇中特別保管(特)ニ編入サセラレルモノニ對シテハ次ノ授受要領ニ依ツテ引渡ヲ受ケ保管シノ他ノモノハ之ニ準ジテ引渡ヲ受ケ

行動不能艦艇又ハ行動不能艦艇(特)トシテ保管スル。

(イ) 自力回航ガ出來ル艦艇ハ所要ノ監視員ヲ乗セ船主ニ自力回航サセ指定繫留地ニ回航ノ上引渡ヲ受ケ特別保管艦(特)トシテ保管スル。

(ロ) 自力回航ガ出來ルガ船主デ回航出來ナイモノ及ビ曳航出來ルモノハ現所在地デ引渡ヲ受ケ回航員ハ曳船ニ依ツテ指定繫留地ニ回航又ハ曳航ノ上特別保管艦(特)トシテ保管スル。

(ハ) 授受ハ當該地方復員局財務局及ビ船主立合ヒノ下ニ行ヒ次ノ要領ニ依ル。

復員廳第二復員局公報 第八三號 昭和二十二年二月一日

三一

0431

(一) 船主ハ現狀調書(搭載物件明細書シ含ム)引渡書及ビ引渡時迄ノ使用明細書各二通ヲ當該地方復員局長及ビ財務局長ニ提出スル。

(二) 當該地方復員局長ハ領收書一通ヲ船主ニ二通ヲ財務局長ニ交付スル。

(三) 授受終了後當該地方復員局長ハナルベク速ニ現狀調書、引渡書、領收書及ビ使用明細書各一通ヲ添エテ保管狀態完成ノ旨報告スル。

(ニ) 船主方船主デ裝備シタ機關鑛裝品等ノ撤去ヲ要求スル場合ニハ實情調査ノ上船主裝備ノモノニ限り撤去サセテ差支エナイ。此ノ場合ニハ現狀調書ニ撤去品名ヲ明記サセテ置ク。

六 各地方復員局長ハ行動不能艦艇ノ現狀ヲ調査シテ管船部、管船班及ビンノ出張所ノ保管分擔及ビ保管要領ヲ定メ報告スル。行動不能艦艇所在並ビニ各地方復員局保管分擔ハ別冊ノ通りデアル。

七 各地方復員局長ハ管船部長、管船班長及ビンノ出張所ヲシテ常ニ艦艇ノ現狀ヲ調査把握サセ保管ヲ確實ニサセルト共ニ隨時現狀査察ヲ行ツテ保管ニ遺憾ノナイヨウニスル。又艦艇現狀ニ大キナ變化方起ツク場合(沈没、損傷等)ニハ遲滞ナク處置ヲ講ズルト共ニ中央ニ報告スル。

八 保管員ハ特別ノ場合ヲ除キ艦内ニ又陸上監視員ハ陸上所定ノ場所ニ居住シ常ニ船體機關鑛裝品等艦内諸施設ノ保管監視

ニ任ジ異狀ノアツク場合ニハ速ニ處置ヲ講ズルト共ニ管船部長、管船班長又ハソノ出張所長ニ報告スル。此ノ場合管船部長、管船班長又ハソノ出張所長ハ必要ニ應ジテ他ノ保管員又ハ監視員ヲシテ之ニ協力サセルコトヲ出來ル。

九、修理ハ現狀維持ニハ必要最小限度ニ實施スル。

(一) 各地方復員局長ハ毎月々頭行動不能艦艇現狀報告二通ヲ調製シテ十日迄ニ到達スル如ク中央ニ提出スルト共ニ寫一通ヲ隣接地方復員局長ニ送付スル。

一一 保管上特ニ要スル經費ハ當該地方復員局經理部宛協議スル。

(別冊添)

0432

(二)復總第四九號別冊)

行動不能艦艇所在並ニ各地方復員局保管分擔表

(昭和二十二年二月一日復員總第二復員局公報)

◎艦艇ノ部

一、横須賀地方復員局

舊艦種	艦名	所	在	現	狀	記	事
巡洋艦	對馬	横須賀	沈沒				
特務艦	春日	士	傾斜着底				
碎氷艦	大泊	横濱	鶴見造船所				
驅逐艦	澤風	長	浦	各部損傷方多イ			
	湖	久	里	主機破損			
	八重櫻	横須賀	轉覆(未成艦)				
	矢竹	長	浦	六〇%完成			
	浦風	横須賀	船體沈沒				
	第一泊浦	長	浦				
	第二泊浦	東京灣第二海堡	坐礁				

0433

〃	〃	〃	〃	〃	驅潜特務艇	〃	〃	〃	驅潜艇	掃海艇	〃	〃	〃	海防艦
一、二八三	一、二八二	二二五	二二三	二二一	一八二	五一	四八	四四	一五	一	蔚美	室津	一一七	九五
東京石川島造船所	横須賀	長浦	浦賀	長浦	東京石川島造船所	長浦	岩手縣釜石港	〃	浦賀造船所	岩手縣山田灣	〃	浦賀	〃	横濱鶴見造船所
繋留中	特保(特)	沈没	浸水	中破擱坐	修理中	沈没	沈没崩露出			沈没	九〇%横轉	九二%完成	未進水、状況不明	進水済
	石川島ヨリ回航シタモノ 漁船改造、機脚未完												客船改造中	

0434

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	哨戒特務艇	〃	〃	〃	〃	〃
一三三	八五	五五	五四	三八	三七	二七	二六	四	三	二	一、六五八	一、六五一	一、六五〇	一、六四九	一、六四八	
〃	横須賀	下田	横須賀	静岡縣三保造船所	横須賀	宮城縣村比造船所	横須賀	宮城縣石巻	横須賀	川崎市旭造船所	〃	〃	〃	浦賀	横須賀	
沈没	特保(特)	九五%完成	沈没	七一%完成	沈没	九〇%完成	特保(特)		特保(特)	繋留	沈没	サツページ終了	沈没	特保(特)		
	築地ヨリ回航シタモノ						浦賀造船所ヨリ回航シタモノ		浦賀造船所ヨリ回航シタモノ						石川島ヨリ回航シタモノ	

0435

三、吳地方復員局

舊艦種	艦名	所	在	現	狀	記	事
巡洋艦	平戸	山口縣	岩國	傾斜着底			
驅逐艦	椿	吳		中破			
〃	楡	〃		前部機械室第二艙室破損			
〃	大須江	山田島		傾斜着底			
〃	三高吳			船體ノミ良態			

哨戒特務艇	一六五	橫須賀	沈沒			
海防艇	一〇三	宮城縣山西造船所	七五%完成			
〃	一〇九	村上	〃			
〃	一一三	靜岡縣三保	八五%〃			
標的艦	矢風	長浦	傾斜着底			
〃	大指	橫濱港外第二區	坐礁(未成完)			
掃海特務艇	六	宮城縣塩釜東北船渠	引揚修理中			
計						
						五〇隻

四

0436

海防艦	六二	吳	八〇%完成、一時沈没
〃	九七	〃	各機械及部品他ニ轉用
〃	二三五	〃	〃
〃	高根	〃	〃
輸送艦	二一	津和地沖	沈没
〃	二二	吳	八〇%完成
〃	一五三	〃	各部故障缺損が多い
驅潜特務艇	一七〇	多度津	機關取外シ船體ノミ
〃	一七四	大竹	火災沈没
〃	二二六	吳	船體ノミ
〃	二二九	〃(吉浦)	〃
哨戒特務艇	一四〇	香川県四國造船所	六五%完成 船體ノミ進水留中
海防艇	一三一	〃	六〇% 船台ニアリ
〃	一三二	〃	四五% 〃
其他	一五米作業艇	吳	哨一〇二ト思考サレル
計	二〇隻		

五

0437

三、佐世保地方復員局

船種	船名	所在	現狀	記事
特務艦	敷島	相浦灣	船體腐朽、機械使用不能	
驅逐艦	椿	門司	中破	
〃	涼月	相浦灣	船前部破孔アリ、機械部品大分撤去	
〃	春風	佐世保	中破	
〃	速	〃	〃	
〃	朝顔	吉見沖	大破沈没	
〃	柳	相浦灣	腐朽	
海防艦	二九	佐世保	主機械大破	
〃	六九	六連沖	全没	
〃	一一六	鹿兒島縣枕崎	着底、大傾斜	
〃	一二四	香焼島造船所	浸水、腐朽、三菱造船機關陸揚	
〃	一九〇	門司	中破	
〃	二〇二	佐世保	〃	
〃	二〇四	〃	〃	

0438

〃	驅潛特務艇	〃	〃	〃	〃	〃	驅潛艇	〃	〃	敷設艇	〃	掃海艇	〃	輸送艦	〃	〃
一六〇	六〇	六〇	五二	二三	二〇	一九	怒和島	一、二二〇	七一〇	二九	一七	一、五七六	一、五七五	崎	〃	〃
福	吉	〃	〃	〃	〃	佐	佐伯	下	吉	彦	佐世	北之浦郡之浦海岸	佐賀縣浦崎造船所	〃	〃	〃
沖	見					保	港	關	見	島	保		横轉沈没(八五%完成)	小破	〃	〃
坐礁大破、船體露出	機械大破						大破擱坐	機關大破	坐礁、船體機關共大破	沈没						

七

0439

四、舞鶴地方復員局

舊艦種	艦名	所	在	現	狀	記	事
驅逐艦	初霜	福井縣小濱港	宮津港	擱坐沈没、一部露出	大破着底、船露出		
〃	竹	〃	〃	船體機關共、使用不能	六〇%完成		
海防艦	二	石川縣能登半島四島村海岸	〃	沈没、上部構造物一部露出	擱坐、後部浸水		
〃	六三	富山縣日本海造船所(東石濱)	〃	八六%完成			
〃	二〇〇	舞鶴	〃	船體各部漏水			
〃	二三五	新潟	潟港	二十年春工事中			
〃	久賀舞	舞鶴	〃	一部漏水、浸水			
〃	建番一、八五一	佐賀縣大浦海岸	浦崎造船所	着底五〇%	船體沈没(五〇%完成)		
〃	〃一、八五二	〃	浦崎造船所	船體沈没(五〇%完成)			
計							四八隻

九

0441

〃	〃	〃	〃	哨戒特務艇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	海防艦	沖繩	繩舞	鶴全没
〃	八六	〃	六六	六五	六四	一九五	一七二	一五三	八一	四九	〃	〃	〃	八丈	〃	〃
九〇	鳥取縣米子造船所	〃	富山縣伏木港佐賀造船所	富山縣伏木港	石川縣七尾港	富山縣伏木港	新潟縣	新潟縣	龍谷牛島松ヶ下鑑地酒見海岸	新	新潟縣上海府村	戸島	伊唐	粟國	〃	〃
山形縣酒田港	沈没	〃	鶴	鶴	〃	沈没	新潟鐵工所ニ繋留	〃	〃	〃	坐礁大破	〃	坐洲、浸水、兵器備品ナシ	〃	〃	船體亀裂、「キール」彎曲
〃	六五%	三〇%	六〇%完成	関係(特)機關部品取外シ他ニ轉用	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

一〇

0442

五、大湊地方復員局

船種	船名	所在	現狀	記事
駆逐艦	橋	函	沈没引揚不能(水深六〇米)	
海防艦	稻	木 青森縣 八戸港	沈没要引揚	
〃	六五	室 蘭 港 内	沈没引揚ノ要スル	
〃	七四	〃	〃	
敷設特務艇	新井 崎	〃	陶宙中破	若工浸水アリ、排水ノ要ス、 日置スレバ漸次沈没ノ憂アリ 日下栗林商船會社ニ保管依頼
敷設特務艇	黒 崎	青森縣 八戸港 白銀海岸	坐礁中破	最近保管員三名アリ、日下地 方民間會社ニ保管依頼、一區 則寮接時々監視リセテキル
駆潜特務艇	一九三	大 湊	船體小破、私營入修理ノ要 スル	
哨戒特務艇	三三	函館 船矢造船所	未完成、會社ニ監視ノ依頼	
海防艦	一四一	島根縣 福島造船所	船體ノミ六〇%完成	
〃	一六三	石川 縣 七尾 港	近藤造船所ニテ修理中	
〃	一五五	島取縣 松江市 福島造船所	九〇%完成	
計				二九隻

0443

船種	船名	所在	現狀	記事
哨戒特務艇	三三	响館船矢造船所	未完成、會社ニ監視ヲ依頼	
海防艇	三四	〃	〃	
〃	一〇一	〃	「キール」ヲ据エタマケ	
計 二二隻				
六、大阪地方復員局				
特記航母	大瀧山丸	神戸港外	七〇%完成シタガ 二〇・八・二五觸雷沈没	
船水母艦	駒橋	三重縣尾鷲灣	沈水擱坐	
驅逐艦	桂	大阪藤永田造船所	船部九五%機部九〇%デブ ルガ船内燒失	
海防艦	四	鳥羽港	沈没	
〃	四五	三重縣尾鷲灣	擱坐沈水	
〃	五〇	大阪藤永田造船所	艀切斷、航行不能	
〃	八三	浪速船渠	船體七〇%、機部四〇%完 成	
〃	二三三	三菱神戸造船所	四〇%完成	
〃	大津	日立櫻島	九〇% 覆暴風ノ爲沈水顛	
〃	友知	〃	二〇% 未進水	

0444

〃	〃	特殊輸送船	〃	〃	海防艇	〃	〃	〃	〃	哨戒特務艇	〃	驅潜特務艇	驅潜艇
S B	S B	E S											
二六番船	二五番船	六番船	二二八	二二六	一二五	一五三	一一一	九三	九二	九一	一八〇	二〇	一四
〃	〃	大阪市藤永田	〃	〃	〃	〃	三重縣西井	〃	〃	三重縣宇治山田市大湊町	大阪港内	神戸新河川口	三重縣尾鷲灣
船體六〇%機關未裝備	船體八〇%機關完備	爆彈ニヨリ中破燒損	三〇%	五〇%	一五%	九五%完成、繫留中	完成繫留中、浸水マダグネシヤ脱落ノ爲浸水大、坐洲シテキル	六五%完成、船台上	〃	九五%完成繫留中	〃	沈没	浸水擱坐
計													二四隻
總計													一八二隻

0445

◎ 飛行機救難艇ノ部

一、横須賀地方復員局

艇名	噸數	所在	現狀	記
大井丸	三〇〇	清水港 江尻	終戦後放置行動不能	浸水甚シク左舷ニ傾斜、部品ハ殆ドナシ、發錆甚シイ
豊空丸	〃	名古屋 R T O	「マサト」號ト命名使用中	舊豊空救難艇
鈴空丸	〃	〃	〃	未調査
八七〇	一五〇	千葉縣寒川港 (千葉軍政部)	航行可能	〃
九二九	〃	東京	終戦後米軍一時使用シタガ 其後芝浦附近ニ沈没シタガ デアル	〃
一、三四一	二〇〇	横須賀港	部品取外シ修理ニ二ヶ月ヲ 要スル	機裝品補機等殆ド破損盗難 ニカ、ツテキル
一、五三九	三〇〇	石川島造船所	未進水	〃
一、五四四	二〇〇	長浦	機裝品浸水、上部構造物燒 損、部品要具ハ盗難ニカ、 ツテキル	雜船デアル
館空丸	〃	〃	「ボンツーン」代用ノ豫定	〃
計 九隻				

二、吳地方復員局

三、佐世保地方復員局

艇名	噸數	所在	現狀	記事
第三西海丸	〃	別府港	坐礁	
第二西海丸	〃	〃	大破修理ニ三ヶ月ヲ要スル	
一、五三六	三〇〇	大分港	行動不能	
八七三	一〇〇	大村灣	良熊米軍使用中	
宇佐丸	〃	吳	尾道造船所ヲ修理中 (英海軍管理)	
火高丸	〃	多度津港		
山布丸	二〇〇	不明		二一・二二中旬英海軍接收、 吳方面ヲ使用中ノ様デアル
一、五三八	三〇〇	小松島	英海軍玉野ヲ使用中	
三、一二九	〃	〃	一五%〃	
三、一二八	〃	〃	五五%〃	
三、一二七	二〇〇	高松市四國造船所	七〇%完成	
計	七隻			

艇名	噸數	所在	現狀	記事
第一島根丸	三〇〇	中村	船體ノミ九〇%完成 (機關未裝備)	
三、一三四	二〇〇	島根縣福岡造船所	四五%完成	未調査ノ爲詳細不明
三、一三六	〃	米子	三五%完成 (資材ノ集メタ程度)	
垂水丸	〃	惠比須灣	着底浸水	
一、一六五	三〇〇	佐世保針尾島	船體內部破壞、前部浸水、 機械發電機部クレーン撤去	
九〇二	一五〇	佐世保	良態、米軍使用中	
三、一三〇	二〇〇	福岡縣自念造船所	六〇%完成	
九三〇	〃	博多	良態、博運使用中	
鹿屋丸	一五〇	海潟	〃	
一、三三五	〃	大根占	行動不能	
一、五七九	〃	鹿兒島縣海潟海岸	坐礁、大修理ヲ要スル	
博多丸	三〇〇	下關	英軍使用中	

計 一三五

一六

四、舞鶴地方復員局

0448

艇名	噸數	所	在	現狀	記
第二島根丸	〃	〃	〃	〃	〃
西海丸	二〇〇	〃	〃	境ヨリ被曳航回航中坐礁	〃
		簸川郡北濱村第六島		七〇% 〃	
					計
					五隻

五、大湊地方復員局

艇名	噸數	所	在	現狀	記
一、三三二	三〇〇	函	館	良態、米軍使用中	
一、三三九	〃	室	蘭	部品フ一、三三二ニ流用シ	
三、一三二	二〇〇	函	館船	矢造船所	四六%完成
三、一三三	〃	〃	〃	〃	四〇% 〃
八七二	一〇〇	大	湊	被弾、大修理ヲ要スル	
					計
					五隻

六、大阪地方復員局

艇名	噸數	所	在	現狀	記
一、五三五	三〇〇	和歌山縣	勝浦	船體完備、機關陸揚中	
一六雜船三七八	〃	大阪造船所		船體七五%完成	
					計
					五隻

	〃	一八〇	一六雜船三七九
	〃	〃	三〇〇
	神戸港	蓬莱	大阪造船所
	品ノ後修理シタケレド船裝 部盜難水線下右舷前部及後 浸水中	七五%〃	船體四五%完成
總計	計		
四四隻	五隻		一八

0450

◎魚雷艇ノ部
一、横須賀地方復員局

乙型	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	甲型	〃	〃	〃	〃	隼型	艇種
三	一七	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	八	二	三六	三五	三四	三三	三三	艇名
横須賀第六船渠 附近	〃	〃	〃	浦賀内港	長浦	横須賀第三船渠	〃	〃	三崎港	〃	〃	浦賀港	三崎港	三崎港	所在
ナシ	ゲ三浦DYデ保管	衛突沈没	ゲ三浦DYデ保管	火災沈没	沈没	修理中	〃	〃	修理可能	沈没	〃	船體ノミ	修理可能	〃	現狀
ノミ	ノミ	〃	〃	〃	〃	米軍管	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	記事
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
二三九	二五四	二四五	二三六	二二八	一〇八	八九	八八	二七	一九	一八	一八	二二五	七	四	〃
横須賀第六船渠 附近	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	浦賀内港	〃	〃	〃	〃
ナシ	沈没	〃	〃	船體ノミ	沈没	〃	船體ノミ	沈没	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

0451

二、吳地方復員局

乙型	二五六	横須賀第六船渠 附近	船體ノミ	〃	二五八	浦賀内港	〃	計	二九隻
----	-----	---------------	------	---	-----	------	---	---	-----

二〇

艇種	艇名	所	在	現	狀	記事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	計	七隻
甲型	四一	河原石港		修理ニ一ヶ月ヲ要スル			二二三	小松島港	〃	二二三	鳴門港	〃	使用不能	
〃	一一八	小松島港		沈	没		公稱ナシ	小松島和田棧橋	沈没シタモノヲ引揚ゲタ	二三一	小松島港	〃	沈	
〃	二二三	平尾島		船體良好使用不能				小松島港	沈	計				

三、佐世保地方復員局

艇種	艇名	所	在	現	狀	記事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	計
甲型	四六	大分港		坐礁			一〇六	鹿兒島縣古江	完備	一六	惠比須灣	沈没		
乙型	一一三	惠比須灣		使用不能			三五	〃	〃	三七	〃	〃		
〃	二二三	福江港 (大分縣大神)		大修理後使用可能			六八	〃	〃	六八	〃	〃		
〃	公稱ナシ	細島港(宮崎縣)		沈没			五四五	名古屋村 (佐賀縣)	〃	五四五	〃	〃		

0452

五、大湊地方復員局

〃	乙型	艇種	艇名	所在	現狀	記事
〃	八四	〃	八三	舞鶴港	完備	米車管理
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
計	〃	〃	八六	〃	〃	修理二ヶ月ヲ要
計	〃	〃	八五	〃	〃	修理二ヶ月ヲ要
計	〃	〃	〃	〃	〃	四隻

四、舞鶴地方復員局

〃	〃	〃	八七九	〃	〃	〃
〃	〃	〃	八七六	〃	〃	〃
〃	〃	〃	八七五	〃	〃	〃
〃	〃	〃	八七四	〃	〃	〃
〃	〃	〃	八七三	〃	〃	〃
〃	〃	〃	八七二	〃	〃	〃
〃	〃	〃	八七一	〃	〃	〃
〃	〃	〃	八七〇	〃	〃	〃
〃	〃	〃	八六九	〃	〃	〃
三隻沈没 七隻半沈没						
〃	乙型	〃	八八九	延岡市東海	浮上修理可能ノ見	〃
〃	〃	〃	八八二	門川港(宮崎縣)	大破	〃
〃	〃	〃	八八三	佐伯港	沈没	〃
〃	〃	〃	一一三	恵比須灣	修理三ヶ月ヲ要	〃
〃	〃	公稱ナシ	八隻	油津港(宮崎縣)	一隻坐礁大破	〃
〃	〃	公稱ナシ	三隻	鹿兒島縣(袴腰)	沈没	〃
〃	〃	〃	二隻	細島港	〃	〃
〃	〃	〃	一	恵比須灣	使用不能沈没	〃
計	〃	〃	〃	〃	〃	三八隻

0453

六、大阪地方復員局

艇種	艇名	所在	現狀	記事	乙型	計
集型	一〇	大湊港	修理ニケ月ヲ要スル	米庫管理	二四六	〃
〃	一一	〃	大破使用不能	〃	二四七	〃
〃	一九	〃	〃	〃	二四九	〃
〃	二〇	〃	〃	〃	二五〇	〃
計	九隻					九隻

艇種	艇名	所在	現狀	記事	乙型	計
集型	公稱ナン一	松尾重工業	船體ノミ六五%完		二二九	〃
〃	二	〃	〃		二三〇	〃
〃	三	〃	沈没		二三三	〃
〃	四	〃	機關ノ他完成		二三二	〃
〃	二隻	鳥羽	沈没		二三三	〃
計	二二隻					二二隻
			揚ゲテ繋留中			
		坐洲	沈没シタモノヲ引			
			中破、修理ニケ月ヲ要スル			
			繋留中			

總計 九九隻

0454

復員廳第二復員局公報 第八四號

昭和二十二年二月四日(火)
第二復員局文書課

(第八三號ハ後送ス)

○令 達

復二第八二號

復員廳分課規程中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年二月一日

復員廳 總裁

別紙第二ノ第二十八條表中吳地方復員局ノ項上陸地連絡所ノ欄「大竹」ヲ「宇田」ニ改メル。

(參照 昭和二十一年六月二十日第二復員局公報)

復二第八三號

昭和二十一年復二第二九〇號及ビ同年復二第四五四號人員臨時増置ノ件中「函館運航部」ヲ「大湊地方復員局總務部(大湊管船班函館出張所)」ニ改メル。

昭和二十一年復二第三〇八號人員臨時増置ノ件中「横須賀選航部」ヲ「横須賀管船部」ニ改メル。

昭和二十二年二月一日

復員廳 總裁

(參照 十月四日、十日、二十一日、十二月十八日第二復員局公報)

復員廳第二復員局公報 第八四號 昭和二十二年二月四日

復二第八七號

復員廳分課規程中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年二月一日

復員廳 總裁

別紙第二ノ第二十八表管船部ノ欄中「大竹」、「博多、關門」及ビ「函館」ヲ削リ同條ニ次ノ一項ヲ加エル。

管船部ノ所屬シナイ地方復員局デハ前項ニ定メテアル管船部ノ實施事項等ハ總務部(管船班)コレヲ實施スルモノトスル。

(參照 昭和二十一年六月二十日第二復員局公報)

○通 牒

二復總第三七號

昭和二十二年二月二十七日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長 殿

艦艇保管關係豫備員ヲ特別保管艦(特ヲ除ク)

ニ乗組マセル件通知

首題ノ件ニ關シ次ノヤウニ定メラレタ。

自今特別保管艦(特ヲ合ス)及ビ行動不能艦艇ノ豫備員ヲ地方復員局長ノ定メル所ニヨツテ所屬各特別保管艦(特ヲ除ク)ノ

0455

臨時乗組トスル。
地方復員局長ハ必要ニヨリ右ノ豫備員ヲ一時管船部ニ勤務セシメルコトヲ出來ル。

二復總第四〇號

昭和二十二年一月二十九日

復員廳第二復員局總務部長

橫須賀、吳、佐世保、舞鶴、大阪、大湊、各地方復員局總務部長殿

紙類節約並ビニ確保ニ關スル件申進

國內ニ於ケル紙類ノ需給逼迫甚シク第二復員局ノ本年度第四四半期割當量モ要求量ノ六分ノ一以下ニ削減セラレ之方現物化モ極メテ困難ヲ豫想セラレル狀況デアル。

從ツテ現狀ヲ以テスレバ遠カラズ事務用紙不足シ事務ニ支障ヲ來ス惧レアルコトモ豫想セラレルノデ各廳ニオイテハ左記ヲ徹底勵行シ紙類ノ節約並ビニ確保ニ努メラレタイ。

記

- 一 終戦後稍亂雜ニナツタ傾向ノアル公用紙類使用ニ對スル觀念ヲ是正スルコト。
- 二 書類作製通數ヲ極力減ズルト共ニ裏紙ノ利用、兩面使用等ノ手段ヲ講ジ事務用紙ノ節約ヲ圖ルコト。
- 三 現ニ保有シテ居ル紙類ハ全部確保(差當リ使用目途ノナイ品種モ轉用スルヲメ確保)シ他ニ流出サセナイヨウニスルコト。

- 四 廢止トナツタ廳(艦艇ヲ含ム)ノ残ツタ紙類ハ確實ニ供給元ニ還納(已ムシ得ナイ時ハ第二復員局關係ノ最寄廳ニ移管)スルコト。
- 五 廢紙類モ極力蒐集シ材料トシテ確保スルコト。

二復總第五〇號

昭和二十二年二月一日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

特別保管艦回航準備特別作業實施要領ノ件通牒

首題ノ件別紙ノ通り改メラレタカラ了知サレタイ。

(別紙)

特別保管艦回航準備特別作業實施要領

- 一 指導方針
 - (イ) 長期碇泊ニ因ル特別保管艦(特フ除ク以下之ニ做フ)乗員ノ士氣ノ沈滞及ビ航海運轉ニ對スル技術ノ低下ヲ防止シ定員ノ約半數ノ乗員ヲ近距離(「マニラ」程度)行動シナシ得ル嚮力ヲ附與スル。
 - (ロ) 艦内諸装置ノ作動並ビニ整備狀況ヲ確認シテ近距離行動ニ對スル整備ノ萬全ヲ期スル。
- 二 實施要領
 - (イ) 回航準備特別作業ヲ出動準備作業及ビ出動作業ニ分ツ。作業實施標準ハ別紙ノ通りデアル。

0456

- (ロ) 當該地方復員局長所定ニ依リ各組毎ニ毎月一隻宛出動準備作業及ビ出動作業ヲ實施シ作業實施艦ニ對シ同一組内ノ他ノ一隻ノ保管員ヲ補充シテ定員ノ約半數ノ人員ヲ作業ヲ實施スルヲ標準トスル。
- 但シ特別ノモノ(乗員ノ練度特ニ不充分、整備特ニ不良等)ニ乃至二隻ニ對シテハ毎月連續、回航準備特別作業ヲ實施サセル事ヲ出來ル。
- 尙陸上待機ノ作業實施艦豫備員ハ作業期間中乗艦(臨時乗組)セシムルヲ例トスル。
- (ハ) 當該地方復員局長ハ船舶部長ヲシテ回航準備特別作業指導班ニ作業實施要領ヲ案劃サセルト共ニ作業期間中指導班員ノ乗艦ヲ指定サセ該艦ノ指導ニ當ラセル。此ノ場合首席指導員ヲ委員長共ノ他ノ指導員ヲ委員又ハ委員附ト呼稱シ指導中ハ左腕ニ赤色標識布ヲ附ケル。尙必要ニ應ジテ實施艦以外ノ特別保管艦ヨリ委員及ビ委員附ヲ選定シテ指導ニ當ラセルコトヲ出來ル。
- (ニ) 回航準備特別作業指導班ハ主トシテ船舶部員及造修課員陸上待機ノ豫備員ヲ編制シ特別保管艦三隻同時作業ニ應ジ得ルモノトシ編制標準ハ左ノ通りトスル。
- 班長 船舶部先任部員又ハ船舶課長
- 班員 二級事務官 九 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係
- 三級事務官 二四 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係 機甲板關關係
- (ホ) 基準保管艦艦長ハ群内各艦ノ出動作業中ハ該艦ニ乗艦シ

復員廳第二復員局公報 第八四號 昭和二十二年二月四日

- テ保安ノ責ニ任ズルト共ニ群指揮官トシテ、ソノ作業ヲ指揮監督スル。
 - (ハ) 出動作業ハ十二箇四時間以内トシ出動作業中艦尾ニ日章旗ヲ掲揚スルト共ニ大櫓ニ日旗ノ後端ヲ三角ニ切り取ツク燕尾旗ヲ掲揚スル。
 - (チ) 船舶部長ハ回航準備特別作業中整備競技ノ一部ヲ實施スルコトヲ出來ル。
- 三 主要研究項目及ビ作業項目
- (イ) 研究項目
 - (一) 回航準備特別作業實施時機點ニ實施標準
 - (二) 配員
 - (三) 船機機關整備要領
 - (四) 回航指令受領ヨリ出動迄ノ作業實施標準
 - (五) 回航時ノ要搭載物件調査
 - (ロ) 作業項目
 - (一) 出入港法
 - (二) 航法
 - (三) 操艦法(横付法、其ノ場回頭、溺者救助法等)
 - (四) 運轉操縱法
 - (五) 指揮通信法
 - (六) 運動力檢測(倍力試驗、旋回試驗、標柱間速力試驗等)
 - (七) 磁差測定
 - (八) 機關諸試驗
 - (九) 基本的應急處置法

0457

四 報告
(三) 回航時ノ要搭載物件調査

- (イ) 各地方復員局長ハナルベク速ニ回航準備特別作業一般計畫ニ部ヲ提出スル。
- (ロ) 各地方復員局長ハ回航準備特別作業實施ノ都度作業開始十日前途ニ到達スル如ク實施艦名、實施期日ヲ電報其中シ作業ヲ終了シクナラバソノ旨電報報告スルト共ニナルベク速ニ成果表ニ所見ニ通テ提出スル。尙實施艦實施期日ヲ變更シク場合ハ其ノ都度理由ヲ附シ速ニ電報報告スル。

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

- 特別保管艦 海第一六號 横須賀市田浦町 横須賀運航部長浦分室氣付
- 同 探 佐世保市福石町佐世保運航部氣付
- 同 偵 舞鶴市字長濱舞鶴運航部氣付
- 掃海母艦 新 南 下關市吉見町下關掃海部氣付

○ 轉官

昭和二十一年 運輸技官ニ轉官 海軍技師 花澤 正男
十二月十五日

復員事務官水谷誠太郎ハ一月二十六日死去シタ

日	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	第六日	第七日
主要作業	準備作業						出動作業
	機構調査	配置教育	作動試験	緊留運轉			
甲 板 部	諸管系調査、弁「コック」閉閉手入	揚錨機作動試験及分解手入 電動捲揚機作動試験	航海兵器取扱法及故障處置法説明 出入港準備説明並ニ出入港甲板作業實習	揚錨機作動試験及分解手入 電動捲揚機作動試験	艦橋機械室間指揮、通信装置作動試験 通信傳令法、轉輪羅針儀作動試験	出港準備出港(浮標解纜出港法)、其ノ場 回頭法、溺者救助法、投揚錨法 入港(横付法及浮標緊留法)、運動力檢 測、磁差測定、標柱開速力試験、基本的 應急處置法、回航時ノ要搭載物件調査	
	機 關 部	補助機械機構研究並ニ整備手入 各「バツキン」箱、整備各「タンク」混 器等ノ調査、排水管系調査	權焚試シ、通氣通油試験、補助機械試運 轉、非常装置作動試験	運轉準備	諸點火汽釀法、煖機煖管法 主機械試運轉、艦橋機械室間指揮通信裝 置作動試験 通信傳令法、諸計器作動確認、舵取機舵 角指示機作動確認、「サイレン」試験、機 關諸試験	機關諸試験 蒸化器使用法、主機械操縱法及發停法、 發電機及空氣壓縮「ポンプ」運轉法、基 本的應急處置法、回航時ノ要搭載物件調 査	

0459

復員廳第二復員局公報

第八五號

昭和二十二年二月七日(金)
第二復員局文書課

○令 達

復二第八八號

舊海軍艦艇及ビ雜役船ノ管船規程ヲ次ノヨウニ定メル。

昭和二十二年二月一日

復員廳 總裁

一方針

管船規程

一 舊海軍艦艇(既ニ内務省ニ移管シタモノヲ除ク)シ「コムナ
ブリヤツプ」ノ要求ニ應ズル如ク保管スルヲ本旨トスル。
二 管船區等
日本全沿岸ヲ六區ニ分ケ各區ニ當該地方復員局所管ノ管船基
地ヲ置ク。
管船區分、管船基地、管船部、管船班及ビソノ出張所、管船
管轄都道府縣(地方)名ハ左表ニヨル。

管船區分	管船基地	管船部	管船班	管船部ノ出張所	管船班ノ出張所	管船管轄都道府縣(地方)名
第一區	大 湊		大 湊		函 館	北海道、青森、秋田
第二區	横 須 賀	横 須 賀		石 巻、清 水		岩手、宮城、福島、茨城、千葉、 東京、神奈川、靜岡、愛知
第三區	大 阪		大 阪		鳥 羽	三重、和歌山、大阪、兵庫
第四區	吳	吳		高 松		四國、岡山、廣島、山口
第五區	佐 世 保	佐 世 保		關門、博多、 鹿兒島		九州(下關海峡ヲ含ム)
第六區	舞 鶴	舞 鶴		松江、伏木、 新瀉		島根、鳥取、京都、福井、石川、 富山、新潟、山形

備 一 管船班ハ當該地方復員局總務部ニコレヲ置クモノトスル。

考 二 管船部、管船班及ビソノ出張所ノ管轄區域ハ當該地方復員局長ガコレヲ定メル

復員廳第二復員局公報 第八五號 昭和二十二年二月七日

三七

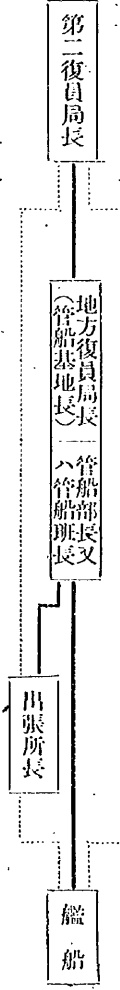
0460

三 要領

- (イ) 管船部、管船班及ビソノ出張所ハ管轄区域内ニアル特別保管艦及ビ行動不能艦艇(未成艦艇、舊飛行機救難艇及ビ舊魚雷艇ヲ含ム以下コレニ同ジ)ヲ保管スル。
- (ロ) 管船部、管船班又ハソノ出張所ハ必要ニ應ジテ管轄区域内ニアル保管艦艇以外ノ舊海軍艦艇及ビ雜役船ノ調査ヲ行

フ。

- (ハ) 行動不能艦艇ニハ狀況ニヨリ保管員又ハ監視員一人又ハ二人ヲ置ク。
- (ニ) 保管ノ實施ニツイテハ特別保管艦艇保管實施要領及ビ行動不能艦艇保管實施要領ニヨル。
- 四 本保管ニ關スル指揮系統ハ次ノヨウデアル。



五 任務ソノ他

- (イ) 地方復員局長ハ管轄区域内ニアル保管艦艇ノ保管ノ責任ズル。
- (ロ) 地方復員局長ハ保管艦艇ヲ極力管船基地、出張所又ハ所在地ニ集結シテ上保管スル。但シ已ムヲ得ナイモノハ現所在地ニオイテコレヲ保管スル。
- (ハ) 地方復員局長ハ管船班長、各出張所長及ビ派遣保管員ヲ命ズル。
- 右職員ハ任務遂行上支障ガナイ限り成ルベク地方官民ニ依頼スルモノトスル。コノ場合ニハ第二復員局長ヲ經テ「コムナブジヤツズ」ノ許可ヲ要スル。
- (ニ) 特ニ必要ガアル場合ニハ管船部長、管船班長又ハソノ出張所長ニ對シ直接第二復員局長ガ指揮スルコトガアル。

- (ホ) 各出張所長ハ出張所ヲ保管艦艇内ニ置クモノトスルガバムヲ得ナイ場合ニハ陸上ニ置クコトガデキル。
- (ヘ) 保管員(豫備員ヲ含ム)ハ艦内ニ居住シテ保管ニ任ズルガバムヲ得ナイ場合ニハ陸上ニ居住スルコトガデキル。
- (ト) 通信ハ二復無線通信ヲ利用スルノ外電話又ハ有線電信ヲ活用スル。
- (チ) 管船關係要員配員標準ハ別紙ニヨル。
(別紙添)

復二第九一號
 第二復員局(地方復員局ヲ含ム)分課規程中一部改正ノ際左記上欄ノ職ニアル者ハ特ニ發令セラルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒナイデ各下欄ノ相當職ニ補命セラレタルモノトスル。

0461

昭和二十二年二月一日

復員廳總裁

記

復員廳第二復員局總務部 艦船運航課	復員廳第二復員局總務部 管船課	橫須賀運航部	吳運航部	佐世保運航部	舞鶴運航部	博多運航部	關門運航部	函館運航部
		橫須賀管船部	吳管船部	佐世保管船部	舞鶴管船部	佐世保管船部		大湊地方復員局總務部

○通牒

復二第五六號

昭和二十二年一月二十四日

復員廳第二復員局長

關係各廳長殿

糧食品給與改正ニ關スル件通牒

昭和二十年十二月一日官房需第二號中別表第一及第二ヲ別紙ノ通り改メ來ル二月一日ヨリ實施ノコトニ定メラレタ。

復員廳第二復員局公報 第八五號 昭和二十二年二月七日

追テ昭和二十二年六月官房需第〇七一八〇番電（昭和二十一年六月十四日第二復員省公報第一〇四號ノ三）及ビ昭和二十一年十月第二番電（昭和二十一年十一月五日第二復員局公報第五四號）ハ自然消滅トナル。
（別紙添）

二復經主第二號ノ一二

昭和二十二年二月五日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長殿

「國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體受拂等規則」中一部改正ノ件通知

首題ノ件ニ關シ大藏大臣官房會計課長ヨリ別紙ノ通り通知ガアツタカラ承知サレタイ。

（昭和二十二年三月二十七日第二復員省公報第五九號參照）

（別紙）

藏會第一〇一號

昭和二十二年一月二十五日

大藏大臣官房會計課長 正示啓次郎

第二復員局經理部長殿

大藏省令「國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體受拂等規則」中一部別紙ノ通り改正セラレタル旨大藏次官ヨリ通知ガアツタカ

ラ取扱上遺漏ナキヤウ期セラレタイ。

官房秘乙第二七八號

昭和二十二年一月二十四日

大 藏 次 官

大 藏 次 官 殿

大藏省令「國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體受拂等規則」ノ一部ヲ別紙ノ通知正サレタカラ御通知スル。

尙本省令ノ改正ハ一月分トシテ支給サレル俸給、給料カラ適用スルモノデアルカラコノ改正省令施行前既ニ五百圓ヲ限度トシテ支拂濟ノ場合ニハ増額分支給ノ際支拂濟ト合シテ七百圓迄自由支拂ヲ受ケシムルヤウ御取計願ヒタイ。

大藏省令第五號

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體受拂等規則ノ一部ヲ次ノヤウニ改正スル。

昭和二十二年一月二十四日

大藏大臣 石橋湛山

第一條第一項第一號中「五百圓」ヲ「七百圓」ニ改メル。

附 則

コノ省令ハ、公布ノ日カラ、コレヲ施行スル。

○ 雜 款

○郵便物發送先

特別保管艦・海芳一〇七號

横須賀市浦賀町

同 福 江

横須賀市田浦町

同 掃特第二二號

同 横須賀管船部長浦分室氣付

同 驅潜第九號

佐世保郵便局氣付

舞鶴地方復員局總務部

舞鶴市字濱

舞鶴 管 船 部

舞鶴市字長濱

○事務所

昭和二十二年閉鎖 特輸艦船乘員宿泊所

十二月三十一日閉鎖 福岡市蓮池町本興寺 玄海寮（三級事務官以下用）

一月十八日開始 阪神掃海部神戸基地

一月二十五日移轉 吳管船部大竹支部

吳郵便局氣付特別保管艦宵月内

○殘務整理

一月十五日開始 鹿兒島上陸地連絡所殘務整理班

一月十五日開始 鹿兒島市六日町朝日通り鹿兒島無盡ビル四階

一月十五日閉鎖 鹿兒島市住吉町海岸通元稅關跡

(復二第八號別表)

(昭和二十二年二月七日復員廳第二復員局公報)

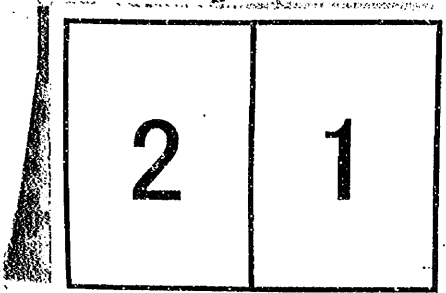
管船關係要員配員標準

管船區分	管船基地	管船部	管船班	出管張船所部	出管張船所班	管船乘員										艦船豫備員(綜合)				陸上要員				合計	總計							
						特別保管艦					行動不能艦艇					二級	三級	加備員人	計	二級	三級	加備員人	計									
						特	保	計	二級	三級	加備員人	計	二級	三級	加備員人											計						
																											二級	三級	加備員人	計		
第一區	大湊		大湊							3	2	5	5									3	4	5	12	21	96					
				函館										1	4	5	10					8	27	30	65	75						
第二區	橫須賀	橫須賀				160	560	880	1,600																	400	2,165	2,484				
				石巻																							1		9			
				清水																							1		10			
第三區	大阪		大阪											2	7	6	15											12	27	42		
					鳥羽									1	6	7	14											1	15			
第四區	吳	吳				10	19	24	53					3	10	13	26					30	46	76	16	41	93	150	315	326		
					高松									1	4	5	10											1	11			
第五區	佐世保	佐世保				146	511	808	1,460					5	19	24	48					29	117	179	325	39	170	191	400	2,388	2,863	
					關門									5	15	25	45											5	6	12		67
					博多										2	3	5											1	11			
第六區	舞鶴	舞鶴				118	413	649	1,180					1	6	7	14					24	87	136	247	19	57	99	175	1,626	1,658	
					松江									1	5	5	11											1	12			
					伏木									1	6	7	14											1	15			
					新潟										2	2	4											1	5			
東京(管船課)																											21	9	15	45	45	
合計						434	1,503	2,356	4,293			81	54	135	4,428	27	117	147	291				85	365	565	1,015	172	444	664	1,280	7,014	
總計														4,428				291											1,280	7,014		

0464

考 備	衛生酒	非常勞働食	保健食品	食 本 基										類 別 品 種 別	糧食給與量額表					
				飲料品	調味及調理用品				醬醃及植物凝味物		豆粉類		主食品							
					茶	調味品	香料	調味品	鹽味	凝味物	植物	醬醃	豆粉類			舊新	骨付	骨付	麥米	
七 本表ノ糧食ヲ給スル者ニハ食料ヲ併給セス	火酒ハラム、ジン	乾パン	ビタミン(A)食 ビタミン(B)食 泥汁用ビタミン(C)食	茶	調味品	香料	調味品	鹽味	凝味物	植物	醬醃	豆粉類	舊新	骨付	骨付	麥米	船乗組員 (日額)	陸上ニ起臥スル船乗組員 (日額)	艦船便乗中ノ軍官民 (日額)	記 事
一 本表ノ量額ハ最上限ノ給與量額ヲ示ス	〇・〇三六立	一一〇	〇・〇一	二	〇・〇五五立	〇・〇五五立	〇・〇五五立	八	〇・〇八五立	〇・〇八五立	〇・〇八五立	〇・〇八五立	又ハ 〇・〇八〇	〇・〇八〇	〇・〇八〇	四八〇瓦	〇・〇三六立	二八二瓦	三三〇瓦	
二 夜食ハ午九時ヨリ午四時迄ノ間ニ於テ業務ニ従事シ其ノ給與ヲ必要トスルトキニ限り給スルコトヲ得	〇・〇三六立	一一〇	〇・〇一	二	〇・〇五五立	〇・〇五五立	〇・〇五五立	八	〇・〇八五立	〇・〇八五立	〇・〇八五立	〇・〇八五立	又ハ 〇・〇八〇	〇・〇八〇	〇・〇八〇	二八二瓦	〇・〇三六立	二八二瓦	三三〇瓦	
三 非常勞働食ハ非常ノ勞働ニ従事シ衛生上特ニ必要アルトキニ限り給スルコトヲ得																				
四 衛生酒ハ氣温水階以下ニ降リタルトキ若クハ非常ノ勞働ヲ爲シタル場合ニ於テ衛生上特ニ必要アルトキニ限り給スルコトヲ得																				
五 患者ニハ其ノ症狀ニ應ジ必要アル場合ハ本表ノ品種ノ量額ヲ適宜ノ栄養品又ハ嗜好品ニ換ヘ給スルコトヲ得																				
六 艦船航海中糧食品ヲ得ルノ便宜ナク現在品ヲ以テ支持スル必要アルトキハ適宜品種量額ヲ定メ之ヲ給スルコトヲ得																				
七 本表ノ糧食ヲ給スル者ニハ食料ヲ併給セス																				

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	糧食換給表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

糧食換給表

規定品種 量 換給品種 量 船組員 陸上乗員 民船便乗

Table with 4 columns: 規定品種, 量, 換給品種, 量. It lists various food items and their corresponding exchange rates.

Table with 4 columns: 規定品種, 量, 換給品種, 量. It lists various food items and their corresponding exchange rates.

Table with 4 columns: 規定品種, 量, 換給品種, 量. It lists various food items and their corresponding exchange rates.

Table with 4 columns: 規定品種, 量, 換給品種, 量. It lists various food items and their corresponding exchange rates.

Table with 4 columns: 規定品種, 量, 換給品種, 量. It lists various food items and their corresponding exchange rates.

Table with 4 columns: 規定品種, 量, 換給品種, 量. It lists various food items and their corresponding exchange rates.

Table with 4 columns: 規定品種, 量, 換給品種, 量. It lists various food items and their corresponding exchange rates.

Table with 4 columns: 規定品種, 量, 換給品種, 量. It lists various food items and their corresponding exchange rates.

0467 0466

復員廳第二復員局公報

第八六號

昭和二十二年二月八日(土)

第二復員局

文書課

命令

復二第七四號

昭和二十二年一月二十七號中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年一月二十七日

復員廳總裁

下關掃海部ノ項掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船)五隻」
ヲ「雜役船(曳船)六隻」ニ改メル。

(參照 昭和二十二年三月六日第二復員省公報第一〇號)

復二第七五號

元第六十四號哨戒特務艇

特別輸送艦トシ舞鶴地方復員局所管ト定メル。

舞鶴地方復員局所管

特別輸送艦 哨特第六十四號

右ヲ特別保管艦(特)ニ指定スル。

昭和二十二年一月二十七日

復員廳總裁

復二第八五號

吳地方復員局所管

特別輸送艦

雪 春 夏 同 同 同 同 同 同

海第十四號

海第十六號

海第三十六號

海第四十八號

海第七十六號

海第七十七號

右ヲ横須賀地方復員局所管ト改メル。

吳地方復員局所管

同

同

同

同

同

昭和二十二年二月一日

復員廳總裁

復二第八九號

復員廳第二復員局定員表中總務部ノ部「艦船運航課」ヲ「管船

復員廳第二復員局公報 第八六號

昭和二十二年二月八日

四一

0468

課「ニ改メ同課ノ定員「二〇」ヲ「二一」ニ改メ「一」ヲ削リ計ノ項「二四二」ヲ「二四三」ニ、「七五」ヲ「七四」ニ改メ同表備考ニ左ノ二號ヲ加エル。

五 復員事務官二級又ハ三級ノ定員ニ代エ囑託ヲ置クコトガデキル。

復員廳地方復員局定員表ヲ別表ノヨウニ改メル。

昭和二十二年二月一日

復員廳 總裁

(別表添)

(參照 昭和二十一年十月二十一日第二復員局公報)

復二第一〇五號

昭和二十一年復二第二九〇號函館運航部ニ人員臨時増置ノ件及ビ同年復二第三七〇號各地方復員局總務部ニ人員臨時増置ノ件ハコレヲ廢止スル。

昭和二十二年二月一日

復員廳 總裁

(參照 昭和二十二年十月四日、十一月二日第二復員局公報)

○雜 款

○事務所

一月六日移轉 愛媛地方世話部第二復員課

松山市御幸町舊城北練兵場側舊護國神社境内

一月三十日移轉 資料整理部技術班及ビ情報班 第二復員局構内

○電話架設

佐世保、一〇六番 掃海監部

0469

(復一第八九號第二表)

(昭和二十二年二月八日第二復員局公報)

考 備	合 計	局員復方地大				局員復方地阪大				局員復方地鶴舞				局員復方地保世佐				局員復方地吳				局員復方地須横				局 部 所	復 員 局 定 員 表				
		函館上陸地連絡所				阪神掃海部				舞鶴上陸地連絡所				博多上陸地連絡所				宇品上陸地連絡所				浦賀上陸地連絡所									
		補	給	經	總	補	給	經	總	補	給	經	總	補	給	經	總	補	給	經	總	補	給	經	總			補	給	經	總
一 復員事務官二級又ハ三級ノ人員ニハ夫々復員技官二級又ハ三級ヲコレニ充テルコトガデキル。	六																														
二 各地方復員局長ハ各部所ノ事務ノ繁閑ニ應ジテ各部所ノ人員ヲ彼此増減スルコトガデキル、但シコノ場合中央配員ノ者ニツイテハ速カニ第二復員局人事部長ニ通報スルモノトスル。	七四三	九	七	五	二五	四二	七	六	三〇	一五	二二	一四	一〇	一〇	二四	七	二二	一五	二四	七	二二	一五	二四	七	二二	一五	二四	七	二二	二〇	二〇
三 復員事務官二級又ハ三級ノ定員ニ代テ嘱託ヲ置クコトガデキル。	一六四六	一〇	六	九	四八	一〇〇	七	一〇	四四	二〇	五七	一五	二〇	一五	六七	一九	三〇	一〇	七八	六七	四一	一〇	七八	六七	四一	五〇	二四	一九	四〇	四〇	四〇
四 本表ノ外行動不能艦艇ノ保管員又ハ監視員ニ充テルタメ各艦艇毎ニ復員事務官、雇員補一人又ハ二人ヲ當該管船部又ハ總務部ニ増加スル。	九六		六				一〇			一四				一六				二〇				三〇									
	五〇七九	二〇	八〇	二二	七八	一一〇	五〇	三〇	八一	四〇	九九	二四〇	一一〇	一一〇	二二	二八五	四〇八	一一〇	二二	二八五	四〇八	一一〇	二二	二八五	四〇八	五〇	二二	二八五	四〇八	七〇	

復員廳第二復員局公報

第八七號

昭和二十二年二月十四日(金)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一〇八號

元第三十二號哨戒特務艇

右ヲ特別輸送艦トシ横須賀地方復員局所管ト定メル。

横須賀地方復員局所管

特別輸送艦 哨特第三十二號

右ヲ特別保管艦(特)ニ指定スル。

昭和二十二年二月八日

復員廳 總裁

復二第一〇九號

當分ノ間次ノヨウニ人員ヲ臨時増置スル。

昭和二十二年二月一日

復員廳 總裁

大湊地方復員局總務部(大湊管船班函館出張所)

復員事務官 三級

雇員 備人

復二第一一三號

昭和二十年內令第七號中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年二月十日

復員廳第二復員局公報 第八七號 昭和二十二年二月十四日

復員廳 總裁

下關掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「新南(佐)」ヲ削ル。

(參照 昭和二十年五月六日第二復員省公報第一〇號)

○通 牒

二復總第五七號

昭和二十二年二月三日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長 殿

特別保管艦乘員教育訓練實施要領ノ件通牒

首題ノ件別紙ノ通り定メラレタカラ了知サレタイ。

(別紙)

特別保管艦乘員教育訓練實施要領

一 方針

特別保管艦乘員ガ艦艇保管ノ重要任務ヲ克ク了解シ船體機關

及器具ノ整備ニ挺身スル習性ヲ養ヒ之ガ取扱ニ習熟シテ速ニ

近距離(マニラ)程度)行動ノ自信ヲ得テソノ任務完遂ニ遺

憾ノナイヨウニスルニアル。

二 實施要領

(イ) 特別保管艦乘員ノ教育訓練ハ次ノ二期ニ分ケテ實施ス

四三

0471

- (一) 第一期ハ主トシテ群單位ノ基礎的教育訓練ヲ實施シ乘員ニ各自ノ配置ニ對シテ必要ナ學識技能ヲ習得サセル。ソノ期間ヲ保管狀態完成後約二ヶ月トスル。
- (二) 第二期ハ主トシテ回航準備特別作業及諸競技等ニ依リ航海並ビニ運轉訓練ヲ實施シ距離離行動ニ自信アル練度ニ到達スルノヲ目標トシ併セテ社會人トシテノ一般常識ヲ附與セシメル。ソノ期間ヲ第一期終了後約三ヶ月トスル。
- (三) 艦長又ハ艦長代理ノ熱烈ナル部下指導ヲ第一義トシ徒ニ高度ノ教育訓練ヲ目標トセズ實狀ニ適應シテ教育訓練計畫ヲ案制シ特ニ嫉教育ニ重點ヲ置キ實施スル。
- (四) 上級幹部ノ率先躬行ニヨツテ下級者ハ喜ンデソノ命ニ從テ氣風ヲ醸成シ自己ノ職責ハ完全ニ果スト共ニ互ニ職責ヲ尊重シ所謂惡平等ノ氣風ヲ一掃シ艦内秩序ヲ維持シテ上下一致衆心相和シテ任務ノ完遂ニ邁進スルヨウニ指導スル。
- (五) 燃料ノ使用並ビニ出動作業ノ回数ハ制限サレテキルカラ特ニ研究工夫ヲ凝ラシ碇泊訓練ヲ最も有効ナラシメ重點的ニ教育訓練ヲ計畫實施シ短期間ニ教育ノ効果ヲ收メルヨウニ努メル。
- (六) 轉科スルモノニ對スル教育ハ特別輸送艦船乘員及豫備員教育實施要領(二復總務局第五一三號昭和二十一年五月二十八日)豫備員教育實施標準ヲ準用スル。
- (七) 積極的ニ體育並ニ情操教育ヲ計畫實施シ健全ナ娛樂ヲ兼ネテ體力ヲ増進シ元氣ヲ清新ニシテ士氣ヲ鼓舞スルヨウニ

- (一) 指導スル。
- (二) 道義心ヲ昂揚シ好機アル毎ニ補習教育並ビニ部外者ノ講話等ヲ實施シ一般社會常識ヲ附與シ渾沌トシタ現時世ヲ正視シ着實ニ保管任務ヲ完遂サセルヨウニ指導スル。
- (三) 教育訓練分擔
- (四) 地方復員局長ハ管船部長ヲシテ特別保管艦乘員教育訓練實施計畫ヲ案制サセ之ヲ實施ニ任ジサセル。
- (五) 教育訓練指導官及之ヲ分擔シ次ノ通りトスル。

呼稱	職名	分擔
特別保管艦教育訓練指導官	管船部長	教育訓練計畫ヲ案制シ之ヲ實施ニ任ズル
群指導官	基準保管艦々々長	右教育訓練計畫ニ基イテ當該保管群ノ教育訓練計畫ヲ定メ之ヲ實施ニ任ズル
組指導官	組基準艦々々長代理	組内各艦ノ教育訓練ノ實施ニ任ズル

- (一) 特別保管艦教育訓練指導官ハ必要ニ應ジ群指導官ヲシテ各科ニ關シ教育主任者トシテ之ヲ一般ノ教育ヲ分擔實施サセルコトヲ出カスル。
- (二) 報告
- (三) 地方復員局長ハ特別保管艦乘員教育訓練實施計畫ヲ定メ其ノ二通ヲ提出スル。
- (四) 地方復員局長ハ毎月十日迄ニ特別保管艦乘員教育訓練實施經過概要並ニ所見二通ヲ又毎月二十日迄ニ翌月ノ教育訓練實施豫定表二通ヲ提出スル。

0472

復員廳第二復員局公報

第八八號

昭和二十二年二月十九日(水)

第二復員局文書課

○令 達

復一第一四號

佐世保地方復員局所管

掃海艦 新南

右ヲ復員廳第二復員局掃海監部附屬トスル。

昭和二十二年二月十日

復員廳 總裁

復一第一七號

第二復員部内職員身上取扱規則中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十二年二月十二日

復員廳 總裁

第二條第一項中「第二復員局文書課長及ビ各部長」ヲ「第二復員局文書課長、各部長及ビ掃海監部長」ニ改メル。

○通 牒

第五番電 (昭和二十二年二月十日發電済)

發 第二復員局長

宛 部内一般(地方世話部二課共)

暫定加給支給ノ件。

復員廳第二復員局公報 第八八號 昭和二十二年二月十九日

左ヨリ本年一月以降當分ノ間暫定加給ヲ支給スルコトニ定ラル。

一 受給者

(イ) 内地ニ勤務スル官吏、嘱託者、雇員及ビ傭人但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハコノ限リデナイ。

(一) 俸給又ハ給料(報酬ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ支給ヲ受ケナイ者。

(二) 第二復員部内ノ勤務ヲ本務トシナイ者

休職中ノ者

(ロ) 外地又ハ外國ニアル海軍軍人軍屬デ内地ニ扶養家族ヲ殘置スル者

二 支給額

(イ) 内地勤務者

左ノ合計額(同位未滿ハ同位ニ滿タシム)、トスル但シソノ合計額ハ俸給又ハ給料ノ月額ヲ超エルコトヲ得ナイ。

(一) 一率ニ月額百五十圓

(二) 俸給又ハ給料ノ二割五分

(ロ) 外地又ハ外國ニアル海軍軍人軍屬デ内地ニ扶養家族ヲ殘置スルモノハ左ノ合計額(同位未滿ハ同位ニ滿タシム)トスル。

特別保管艦 海第五五號 佐世保市福石町 佐世保管船部氣付

同 海第七九號 同 東舞鶴郵便局氣付

同 航船 東亞丸 吳市下山手町

試 航船 東亞丸 吳地方復員局掃海部氣付

- (一) 一率ニ月額百圓
- (二) 俸給又ハ給料ノ二割五分
- 三 加給ノ支給ニ關シテハ俸給又ハ給料支給ノ例ニヨル。
- 四 支拂方法
恒例給與ヲ含ミ七百圓迄ヲ自由支拂トスル。
註 一月分ニツイテハ既ニ支給セル額ヲ含ミ七百圓迄ハ自由支拂トスル。
- 五 支出科目
第一號ノイニ該當スルモノ
復員諸費(款) 第二復員諸費(項) 諸給與(目) 特別加給(節)
同 (ロニ該當スルモノ)
復員諸費(款) 第二復員諸費(項) 在外部隊諸費(目) 特別加給(節)

二復總第七〇號
昭和二十二年二月十日
復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿
特別保管艦現狀報告書式ニ關スル件通牒
首題ノ件別紙ノ通り定メラレタカラ了知サレタイ。
(別紙添)

○ 雜 談

○ 郵便物發送先

0474

(一復總第七〇號別紙)

(昭和二十二年二月十九日復員廳第二復員局公報)

〇〇在港特別保管艦現狀報告

昭和二十二年 月 日現在

〇〇地方復員局 ㊸

編制	艦名	所屬		艦長(理代)名	人員	燃料	其他	備考
		浮標	繫留					
群	組	岸壁	又ハ	元士	元士	元士	元士	元士
人員					員	計	合	

- 備考
- 一 基準保管艦ハ◎印 組基準艦ハ○印ヲ艦名上ニ記シテ區別スル。
 - 二 兼務ノモノハ現乗艦中ノ艦艇人員欄ニ記入スル。
 - 三 臨時乗組ノモノ(回航準備特別作業指導班員ヲ除ク)ハ()内ニ記シテ人員欄ニ記入スル。
 - 四 陸上待機中ノ豫備員ハ各科毎ニ二級事務官、三級事務官及原員ニ分テ三級事務官、原員ハ更ニ特技章別ニ分テ別表トシテ添付スル。

- 一 現狀欄ニハ()内ニ特別保管艦保管實施要領ニヨル現狀適要略語ヲ記入シ現狀ヲナルベク詳細ニ記入スル。
- 二 搭載物件及ビ陸揚物件ニ異動(消耗品、被服、糧食治療品及ビ燃料ヲ除ク)ガアツタ場合ハ別紙トシテ添付スル。

復員廳第二復員局公報

第八九號

昭和二十二年二月二十一日(金)
第二復員局文書課

○令達

復二第一一八號
左記艦船ノ乗員ハ特ニ發令セラレルモノノ外別ニ離令ヲ用ヒナ
イデ各下欄ノ管船部勤務トナツタモノト心得ヨ。
昭和二十二年二月十二日

復員廳總裁

記

若	應	佐世保管船部
早	琦	横須賀管船部
荒	琦	舞鶴・管船部
朝嵐丸	丸	佐世保管船部
ぼごた丸	丸	横須賀管船部

○通牒

二復總第六九號
昭和二十二年二月十二日

復員廳第二復員局總務部長

復員廳第二復員局公報 第八九號 昭和二十二年二月二十一日

各地方復員局總務部長殿

行動不能艦艇(含飛行機救難艇、魚雷艇)月

頭報告書式ニ關スル件照會

首題ノ件三月分ノモノヨリ左記書式ニ依ラレ度イ。

尙月頭報告ハ毎月各地方復員局ヨリノモノヲ取纏メ「ゴムナブ

ジャツプ」ニ提出シ、ソノ寫ヲ各地方復員局ニ送付スルカラ、

翌月ノモノハ之ヲ基準トシ追加訂正ヲナン毎月十日迄ニ到達ス

ルヨウニ送付カレ度イ。

記

○地方復員局保管行動不能艦艇(含飛行機救難艇、魚雷艇)現狀報告

昭和二十二年 月 日現在

○地方復員局

一 艦艇ノ部	現狀
船體	燃料在庫量
船裝	軍油
主機及同機	潤滑油
副機及同機	石炭
電機	需品
備品	記事

四七

0476

艇名噸數		所在		現狀		記 事
艇名	噸數	所在	現狀	備註	備註	
三 魚雷艇ノ部						
艇種	艇名	所在	現狀	備註	備註	記事
				船體	機關	需品
<p>○ 雜 款</p> <p>○ 郵便物發送先</p> <p>特別保管艦 輸第十三號 東京都麴町區丸ノ内丸ビル三階 極洋捕鯨株式會社捕鯨部氣付</p> <p>同 輸第十九號 東京都麴町區丸ノ内丸ビル六階 大洋漁業捕鯨部氣付</p>						

0477

復員廳第二復員局公報

第九〇號

昭和二十二年二月二十六日(水)
第二復員局文書課

○通 牒

二復總第八二號

昭和二十二年二月二十二日

復員廳第二復員局總務部長

各 廳 長 宛

物品ニ對スル非違行為防止ニ關スル件申進
首題ノ件ニ關シテハ各部ニオイテ從來トモ充分注意シテ來タコトト思ワレルガ最近ニナツテモ非違行為ハソノ跡ヲ斷タズ現在ノ社會情勢デハコレガタメ種々ノ風評ヲツクリ又物品取扱關係者全體ガ疑惑ノ目ヲモツテ見ラレ惹イテハ第二復員局全體ノ威信ニモ拘ルコトデアルカラ關係各部ニオイテハ左記ヲ特ニ徹底實行シ此ノ種行為ノ未然防止ニ努メルト共ニカカル疑イノアルトキハ徹底的ニ究明シ速カニ事件ヲ處理スルト共ニ非違行為者ハ直チニ嚴重處罰スルヨウ取計ワレタイ。

記

- 一 常ニ物品ノ保管出納狀況ヲ明カニシ非違行為ノ原因ヲツクラナイコト。
- 二 物品還納ノ際ノ處理ヲ嚴正確實ニ行フコト。
從來ノヨウナヤリ方デハ還納品粉尖ノ機會ガ相當アルト考エラレルカラ還納側デハコノ點細心ノ注意ヲ拂ウト共ニ各地方

復員局デ適宜ノ方法ニヨリ關係責任者ガ立合ツテ嚴重處罰ノ下ニ還納スル等ノ手段ヲ講ジ非違行為ノ防止ニ努メルコト。
三 部外ニ物品ヲ引渡ス際ハ特ニ授受ヲ明確ニスルタメ關係責任者ガ立合ツテ品種數量狀態等ヲ確認スルコト。
四 廢止トナツタ艦及ビ部外ニ移管トナツタ艦船ノ物品ヲ處理スル際ハ前二項ニ準ジテ嚴正ヲ期スルコト。
五 他ニ物品ヲ輸送スル際ハ關係責任者立合イノ下ニ内容品ノ品種、數量、狀態等ヲ確認ノ上包裝スルト共ニ輸送途中ニオケル内容品ノ毀損亡失ヲ防グタメ荷造リニ特ニ留意スルコト。
ナオ發送元ト受取先ハ相互ニ連絡ヲ密ニシ授受ヲ明カニスルコト。

○ 雜 款

○轉官

昭和二十年 三月十五日	臺中州警部ニ轉官	海軍警部	佐々木金次郎
同	臺北州警部ニ轉官	同	中村二三治
同	新竹州警部ニ轉官	同	田口爲三郎
昭和二十一年 一月一日	臺北州警部ニ轉官	同	寺師 良治
同	臺南州警部ニ轉官	同	圓福竹三郎
同	海運局事務官補ニ轉官	海軍司政官	山形 増男
三月十日	同	同	同

復員廳第二復員局公報 第九〇號 昭和二十二年二月二十六日

四九

0478

復員廳第二復員局公報

第九一號

昭和二十二年二月二十八日(金)

第二復員局文書課

○通 牒

二復員主第七號ノ一

昭和二十二年二月二十六日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長殿

鐵道貨ノ改正ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ運輸省ニ於テ本年三月一日以降鐵道貨ヲ次ノヤ
ウニ改正サレタカラ可然取計ハレタイ。

記

一 鐵道ノ大人普通旅客運賃ノ貨率ハ左ニ依ル。

百五十斤以下ノ 料程每一斤	三等 十錢但シ二十斤以下ノ區間ノモノハ 九錢五厘
百五十斤ヲ超エ 千二百斤ヲ超エ ル料程每一斤	二等 三十錢五厘 一等 六十一錢 三等 七錢五厘 二等 二十三錢 一等 四十六錢 三等 七錢 二等 二十一錢 一等 四十七錢

最低大人普通旅客運賃三等五十錢、二等一回五十錢、二等三
回

二 鐵道ノ大人普通旅客運賃ハ旅客ノ發着區間料程ノ前號ノ貨
率ノ異ナル料程毎ニ區分シ之ヲ前號貨率ニ乗ジ合算シ端數ヲ
左ニ依リ整理シタルモノトスル。

五回以下ノ額 十錢未滿八十錢ニ切上ゲル。

五回ヲ超エ十回 五十錢未滿五十錢ニ、五十錢ヲ超エ十回
以下ノ額 未滿八十錢ニ切上ゲル。

十回ヲ超ユル額 五十錢未滿八十錢、五十錢以上八十回ニ
切上ゲル。

三 航路ノ大人ノ普通旅客運賃ハ左ニ依ル。

前項ノ旅客運賃ニハ食費ヲ含マナイ。	三 等				二 等				一 等			
	三	二	一	等	三	二	一	等	三	二	一	等
稚 内—大泊港間	一六〇〇	四九〇〇	一三一〇〇	〇〇								
青 森—函館間	一一〇〇	三五〇〇	九三〇〇	〇〇								
宇 野—高松間	二〇〇〇	六〇〇〇	九三〇〇	〇〇								
宮 島口—宮島間	五〇〇											
下 關—門司港間	五〇〇											
下 關—釜山間	二二三〇	六九〇〇	七二二〇	〇〇								
博多港—釜山間	二二三〇	六九〇〇	七二二〇	〇〇								

0480

復員廳第二復員局公報 第九一號

昭和二十二年二月二十八日

五二

